聖市コンデデサンジョアキン街九十三番地
郵函二七六五
發行所　聖州新報社
發行人　香山露子
購讀料　一年四十圓
廣告料　一段七二圓
NOTICIAS DE SÃO PAULO
Caixa. 2765 - Fone 7-0447
R. Conde de S. Joaquim,93
São Paulo-Brasil

大西洋上の戰鬪……

獨主力艦隊及潛水艦協力

英商船艦隊擊沈

【伯林二十四日同盟】太西洋上に於て主力艦を中心とする獨逸艦隊が英商船二十二隻十一万六千噸を擊沈したことはチャチル首相の所謂大西洋の戰鬪が開始された事を意味するもので、對英封鎖は春の到來と共に極度に强化されつつあるが獨主力艦に制乘して戰線に新紀元を劃する主力艦にるよ封さ線に參加した獨逸の報道班部員は二十四日附のフオルシウ・ベオバハタト社に左の第一報を寄せた

我々は數週來故國の水域を離れ寒風吹きすさぶ北大西洋上で激浪と戰ひ、流氷をおかして艦隊司令長官以下偉大なる瞬間を堅唾をのんで待ち構えた遂に吾等は遙か水平線の彼方に帆柱の先端と煙筒の煙を認める事が出來た、敵の護衛船隊は直ちに吾が砲火へ警告射擊が發せられ無電を通じての信號が「ウエタウエダ提督の商船破壞隊現る」の獨乙の公式信號だ、敵からもこれに對して無電を通じ、警告を受手した旨を回答する、艦上砲は商船隊に向つて一聲に火蓋を切り艦體や機關部に命中彈を集中敵に逃亡の餘猶を與へないのは勿論、敵が援護の艦隊を召集するいとまも許さない、次か、或は廣洲灣より龍州を經

艦は三十八サンチ砲を我々に八千噸商船一隻を沈めてる、

【ニューヨーク發】米國の對英援助政策に關聯してウラヂオ經由でドイツへ流入する物資について米國は英國としては對戰時經濟相によれば米國は昨年度第四四半期に十二萬俵の棉花をソ聯へ輸出してゐるとも云ふことだ、しかし米國商務省の記錄では昨年中を通じて十二萬五千俵程度にしかし達してゐない、石油の場合は昨年十一ヶ月間に八十八萬七千バ

我が軍 汕尾 海豐 を占領

重慶側國際路全く壞滅

【香港二十五日同盟】我が汕尾攻撃と相呼應して辰門港等よりの周到さを發揮して到着二日前にすつかり出來上つた、アンハルター驛を基點とし總統官邸前のウイルヘルム街を突貫け、ウンタデンリンデンから更に東西樞軸道路を通過、一行の宿舍ベルヴヰユ迎賓館に到る四キロの沿道には數日前から特製の眞白い柱がすき間なく立てられたが、二十四日は早朝から工兵隊迄一齊に日獨國旗があげられた獨乙流の長さ五メートルもある日の丸が數百流二十四日から一齊に街頭に飜がへる、ハーゲンクロイツ交互に街を埋めてるが南支伊藤部隊は所在の敵を蹴散らし十九日午後平山を占領、引續き二十日には平山は眼にしみる樣に偉壯的であ去る十六日未明バイアス灣東方無名半島へ上陸逐中敵を掃蕩

【香港二十五日同盟】我が汕尾攻撃と相呼應して辰門港等よりの周到さを發揮して到着二日前にすつかり出來上つた、アンハルター驛を基點とし總統官邸前のウイルヘルム街を突貫け、ウンタデンリンデンから更に東西樞軸道路を通過、一行の宿舍ベルヴヰユ迎賓館に到る四キロの沿道には數日前から特製の眞白い柱がすき間なく立てられたが、二十四日は早朝から工兵隊迄一齊に日獨國旗があげられた獨乙流の長さ五メートルもある日の丸が數百流二十四日から一齊に街頭に飜がへる、ハーゲンクロイツ交互に街を埋めてるが南支伊藤部隊は所在の敵を蹴散らし十九日午後平山を占領、引續き二十日には平山は眼にしみる樣に偉壯的であ去る十六日未明バイアス灣東方無名半島へ上陸逐中敵を掃蕩

【仙尾二十五日同盟】海豐は

【仙尾二十五日同盟】仙尾攻撃を控へ軍事的樞要の地形を占めてゐる人口約四萬、仙尾峰冠ルートの中繼地點として香港ルートの替ルートを求め海豐ルートを經て進の運命に陷入り、仙尾海豐ルートを經て進の運命に陷入り、仙尾海豐ルートを經て進の運命に陷入り、仙尾

獨伊、英米の明日の爭覇場

貿易減退に惱む南米諸國

（大阪掲載）

歐洲戰爭の進展は遂に米國を參戰一歩前まで追ひやつた、米國の傘下に汎米中立ブロックを形成する南米諸國は異常な緊迫感に襲はれてゐる、面積千八百卅万キロ、人口九千三百四十万の南米大陸はいはゆるABC三國アルゼンチン、ブラジル、チリーを除いて未開の地であるが、小麥玉もろこし、煙草、コーヒー牛肉等の食料品、羊毛棉花、ゴム、石油、硝酸鹽、銅等の原料品の產出多く高度資本主義諸國がすい涎する大寶庫を藏してゐる、從つて戰前米國のドル資本を筆頭とする列强の經濟的角逐には目ざましいものがあり、なかんづく最近は米國に挑戰するドイツの進出が注目をひいた、そしてそれは單なる經濟的進出に止らすいはゆる全體主義イデオロギーの進出として米國を警戒させ焦躁させてゐた、しかし歐洲戰爭が

擴大し　今日米國の南米や米國は例のモンロー主義に對する關心はもつと切迫して獨伊の進攻を豫想する軍事的考慮が主要なるものとなつてゐる

一昨年秋歐洲戰爭勃發すると汎アメリカニズムの掛聲の下にパナマ汎米會議を開いたが、當時の問題は專ら中立性の强化と歐洲戰爭の經濟的影響阻止にあつた、だが昨年七月開かれたハヴアナ汎米會議では平和と中立を希念することに變りないが主要な關心は西半球の防衛問題へと轉化した、ドイツが蘭白を席卷し佛國を屈服させさらに英本土上陸戰を企圖するに至つて戰爭は米洲大陸の身邊に迫つて來たのである、かくてハヴアナ會議は西半球における歐洲交戰國領土の所屬變更阻止を聲明するハヴアナ宣言と萬一の場合歐洲諸國屬領に暫定的共同統治を施行せられんとする米洲協約、その他汎米經濟宣言、第五列反擊宣言等を採擇した

その後九月三日米國の西半球防衛工作は英國から大西洋および南米ではカリビヤ海に散在する諸島および南米ではカリビヤ海に面するギヤナを軍事基地として

租借す　るに至つた、また南米諸國に對しても海空軍基地建設許可を要求し、同月十九日スチムソン陸相はすでに各國との外交交渉が完了せる旨言明し、まもなく十月一日ワシントンに南米軍事使節會議が招集され具體的防衛策が練られたが、さらに各國別に基地選定の折衝が開始された

同月中ペルー、チリー、ブラジルとの協定成立せる旨傳へられたが、十一月に入つてアルゼンチン、ウルグワイとの間は兩國の輿論が反對のため頓挫した殊にウルグワイには米國にはラプラタ河の河口をやくするプエンタ●デル●エステを求めたが、ラプラタ河はアルゼンチンの主要通路なのでアルゼンチンも斷然反對したしかしその代り兩國だけで十二月十四日ラプラタ河防衛の協力等を約する兩國共同防衛協定を結んで汎米中立ブロックへの協調を示した、かくて米國の南米抱込み政策は着々進行しつつあるのだ

戰爭勃發前歐洲は南米との貿易關係において米國より有利な條件に惠まれてゐた、歐洲の工業製品と南米の食料、原料品は好個の交換物であるが米國は小麥、玉蜀黍、棉花等の農產物で世界市場において南米と競爭相手になる、この點を衝いたナチスのドイツは船七隻も最近大量の軍需品を積込み英の海上封鎖突破の準備を整へつつある模樣で、傳ふるところによれば、リオ港のレツヒ號は皮革三萬枚、珈琲七萬袋を積込んだ由である出港の曉は將にスリルと重い使命を持つた劇的な旅が續けられる譯で危險のきなかにも故郷に歸へるたのしい氣持ちが船員達の胸にあふれてゐることだらう

松岡外相と リオ新聞　【リオ二十日本社電】リオ新聞は本日の時局評論の中で、松岡のモスコー訪問を評し、「何かするには一日では短かすぎるし、何もしないには長過ぎるし、しからば彼は何をするのか、おそらくはクレムリンの空氣を打診し、訪問名刺をおいて來る丈だらう」と記してゐる

英商業使節　△△△△△△△訪伯の効果薄し　過般來訪した英商業使節の一員であつた輸出協會長フオーレス卿は「其後海運界情勢變化のため商業使節の効果には大した期待が持てゐない」と言明した、會同卿は伯國の工業的進歩を激稱してゐる

米國朝野驚く　**伯海相演說の反響**

【リオ二十日本社電】ギルヘ日伊海相のナタールに於ける全國海岸の海軍基地設定に關する演說は米國方面に相當の衝動を與へた樣であるが、當の海相は十九日ベレーン市に於ける歡迎會で大アマゾンの門戶たるベレーン市の重要性を强調し、「同市は近い中に極北の哨兵たらむ」と述べ、同港施設改善の急務を力說した

入伯外國人內譯

既報、一九四〇年中の入伯外國人內譯は左の通りである

一時　永久

年				
1940年	三三、二三四	三三、六六	一、二、九六	一、七五三
……	三三、五六六	二四、三七	四二七	一、七五三

獨伊船九隻愈よ出港か

海路・遠く故郷さして

ロンガ・ビアージエン・デ・ボルタ

ベレン港にある獨貨物船ノルデネー號が大量の軍需品積載の上出港の準備をととのへてゐる事は既報したが、更にリオ港に通入中のレツヒ號及びベルナンブコ港にある伊太利船ロンガ・ビアージエン・デ・ボルタ號はいまのところ南米に積極的働きかけをしてゐる獨伊はいまのところ南頭する獨伊の地中海作戰に沒英本土攻擊と地中海作戰に

ブラジル、パラグワイとも信用協定を結んだ

ヤン列島から南はカリビヤ海バナマ運河、ハワイ、豪洲、シンガポールに至る廣汎な戰線が布かれることになる

さうなると兩者に介在する南米大陸は單に經濟的のみならず軍事的に獨伊と英米が決戰する檜舞臺とならう南米とは地球面の對蹠地である遠く離れた日本も、ブラジルに二十万の移民を送つてゐるほか、近年貿易關係やうやく盛んにならうとしてゐるが、この大陸が明日の世界戰爭の決戰場にならぬとも限らないとすればその動向には嚴重な監視の眼を注がねばならない。

クイザモ

▲二十三日の聖市實業野球は雨天の爲中止した、同日の試合は四月六日に行はれる

▲過般來バウルー市に聖市日本商業會議所支部設立の機運が動いてゐたが同地商社卅名に依り設立が決定一昨二十三日バウルー市で本部より中西書記長出席、創立總會を開催、左の如く役員が決定した

理事長古川陽一（南米銀行）會計楠本次郎（國井商店）常任書記大釜七藏第一區長澤尾磯七、同第二小林武雄、同第三竹田清一、同第四芳賀仁吉、同第五坂田政雄

▲日伯經濟協會では一九三九年十二月七日附法令一八四三號（使用人三分法令）に關し勞働大臣宛緩和方を申請中であつたが去る二十二日附却下された

▲四月五、六の兩日サンタアンナ劇場で久方ぶりのオペラが上演される、コンパニア、リリカ、ブラジレイラが「椿姫」と「ボエーム」を出す

▲人の家の窓トで夜十二時過ぎ迄戀を語つてゐた男女が其の家の女主人にとがめられたと云ふので大喧嘩になり、隣近所騷起き出して大驚ぎになつた事件がジオ●デ●バーロス街二五に移轉した、目宅電話番號は二五●八六二六

▲商工省派遣調査團一行は二十二日午後一時半のコンドル機にて退聖、リオへ向つた

▲元本社記者藤井阜二君は「藤井商事」の看板でオカマラダ二階七號室に事務所を開設、米國のホメオパシー藥の輸入販賣と「隣組」式の日用品供給を行ふ事となつた、ホメオパシー藥は既に日本にも輸入されて好評を博してゐるもので相當に期待される「新聞屋から商賣人ではどえらい轉廻ぶりで、誠にぎこちない商人で すからどうぞよろしく」と同君は語つてゐる

▲料理屋のドンチャン騷ぎくらひ聞き苦しいものはない、そしてこれ位日本人の體面をけがすものはない去る二十一日の夜も青柳通に面した室で卑俗なおけさ節の替うたをがなりたてゐる一團があつた、料理屋の方でもこう云ふ事は客に注意しても一向差つかへあるまい

▲料理屋と云へばその料理屋の女給は愈よふえる一方である、最近は此の女給どもがあちこちのバールにあらはれ、なじみの客と見るといやらしい態度で話かけて來る、日本人同志の間では素然がわかつてゐるが伯國人はこれを何と見るだろうか、ある伯人が見て某邦人にこう云いつてゐるのを聞いた事がある「日本人も二十万と云ふ大勢の數があるのだからこう云ふ女の人の一人や二人あるのも當前ですよ」ときも氣の毒さうに云つてゐた

◇◇◇

◇◇◇

三角動

都城地方線

"いい子に成る"

バラガツツスー　伊藤氏名明記▲紙上變名可　本社編輯部三角點係宛

日本人はまことに困つたものを持つてゐる、それは「錦衣歸國」といふ言葉のもつ心情である、すでに今日までもこの考へがどのくらひ、われわれ日本人の對外的發展を阻害したことか一々例證を擧げる譯にはいかぬ、成功すれば故郷へ歸へつて氣樂に暮す、といふのが外へ出るものの最大の念願であつた

しかし今はその樣な時代ではない事位ひは當地にある同胞は充分解つてゐる筈である「歸國する樣な利己心をする爲には大いに當地で活やくされ最近の歸國者の激增は「錦衣歸國」の氣持ちより當地が住みにくくなつた爲のもので其の人の身上に立至れば一部指摘の如く頭からこれをどやしつける事は出來ないが、顧みて更に幾万の同胞を犧牲にすて先輩の靈を慰さめることもなく自分だけが、いい子になる爲には、歸國する樣な利己心をすてる、大いに當地で活やくされたい。

ソロ線電化に　**伯銀十七万コント融資**

【リオ二十日本社電】聖州ソロカバナ線電化事業に關する資高は十七万コントスで二十聖州政府と伯銀間の融資契約は昨日伯銀內に於て調印され居る

洋毛の　大部分ブラジルおよびコロンビヤの輸出する煙草の大分部アルゼレチンの輸出する棉花の三分の一はドイツに向け志家が出て郷土福井の詩意して腰をかがめるなど目下毎日のやうに敬禮練習が行はれてゐる

▲過般來ブラジル、ハヴアナ市の「三秀園」は修理するには十六、七萬円も要るので市當局では頭痛の種としてゐるが誰か篤携帶品のある場合にも注意して腰をかがめるなど目下毎日のやうに敬禮練習が行はれてゐる

●●●

No 2202

NOTICIAS DE S. PAULO
(Primeiro Diario Nipponico Publicado no Brasil)

3ª FEIRA 25 DE MARÇO DE 1941

戰線から 銃後から [5]

不幸な支那の兒

先生の正體は便衣隊だった

南支・板津部隊上等兵 吉田定

母校の皆さんへ

學校のみなさんお元氣ですか、われ〳〵がこの地に到着した時分は未だ戰ひの跡が至るところにのこつてゐて皇軍の奮闘を偲ばせた者ですが今では全く復興し、こはれた橋なども風雅な赤塗のものにかはりました、逃げてゐた住民もおほかた歸つて乏しいながら生業にいそしんでをるやうに見えます、われわれも比較的落着いた氣持で日夜の警備や演習にはり切つてゐます私のゐる附近の部落を歩いてみると

●……廟間に……●

廢屋が眼につきます、上民をつかまへて聞いてみると手眞似で書物を讀む恰好をするのです、今年の春、學校だなとわかりました、學校といつても他に學校もあるのですが、一番大きな洋館まかひの小學校もあるのです、武裝のまま入ることはどうかと思ひましたが、そつと戸を開けて見ると子供たちはチラとこちらを振向いたまま平氣で讀書をつづけてゐます、度々の掃討でもうつかり「日本先生」にコリと私に笑ひかけたものもありました

●……黑板に……●

生徒は四、五十人で背にした先生は日本とあまし持つた土民の一人が捕へられたのですが、私の見た書林の教師だつたのです、調査の結果彼は學校だなとわかりました、小さな體で、「孟子註釋抄」とあり、中眼鏡で見るやうな細かい字がギツシリなんでゐます、先生といふのはせいぜい八、九歳の小孩でこれで意味がわかるかと先生に訊ねると「いや全然わからない、自分にもよくわからない」と洒々と答へたのにはちよつと呆れました。私はこの時學校で勉强してゐられるみなさんのことを大きな感慨をもつて思ひ浮かべずにをれませんでした、ところがこの書林の御忙しいなかを、僕たちのためにお書き下さつた御筆蹟には二年前までボールドで見なれた懐かしさとともに僕たちの愛情のほどを細々とうかがわれたのでした、それにしても支那の子供達に比べるのみなさんの幸福を思はずにをれません、これを新年の挨拶かへられた先生のお言葉通りに僕たちかはりなくはげんでをりますから御安心下さい

●……便衣隊……●

○○書林といふ額を掲げたもある部落の書林を實地に見ることが出來ました道で出くわした戰友からいま書林でさかんに授業中だと聞かされて飛んで行くとなるほど子供たちの本を讀む聲が屋外にまで聞えてきます、お邪魔を聞いてゐる樣です、武裝のまま入ることはどうかと思ひましたが、そつと戸を開けて見ると子供たちはチラとこちらを振向いたまま平氣で讀書をつづけてゐます、度々の掃討でもうつかり「日本先生」にはは慣れてゐるのでなかにはコリと私に笑ひかけたものもありました

生徒は四、五十人で背にした先生は日本とあまし持つた土民の一人が捕へられたのですが、私の見た書林の教師だつたのです、調査の結果彼は先日の掃蕩戰の途中はからずもある部落の書林を實地に見ることが出來ました道で出くわした戰友からいま書林でさかんに授業中だとかねがね考へてゐましたが、ついるものかを見たいものだとかねがねこの地に到着した時分は未だ戰ひの跡が至るところにのこつてゐて皇軍の奮闘を偲ばせた者ですが今では全く復興し、こはれた橋なども風雅な赤塗のものにかはりました、逃げてゐた住民もおほかた歸つて乏しいながら生業にいそしんでをるやうに見えます、われわれも比較的落着いた氣持で日夜の警備や演習にはり切つてゐます私のゐる附近の部落を歩いてみると

●……廟間に……●

廢屋が眼につきます、上民をつかまへて聞いてみると手眞似で書物を讀む恰好をするのです、今年の春、學校だなとわかりました、學校といつても他に學校もあるのですが、一番大きな洋館まかひの小學校もあるのです、武裝のまま入ることはどうかと思ひましたが、そつと戸を開けて見ると子供たちはチラとこちらを振向いたまま平氣で讀書をつづけてゐます、度々の掃討でもうつかり「日本先生」にはは慣れてゐるのでなかにはコリと私に笑ひかけたものもありました

●……黑板に……●

生徒は四、五十人で背にした先生は日本とあまし持つた土民の一人が捕へられたのですが、私の見た書林の教師だつたのです、調査の結果彼は學校だなとわかりました、小さな體で、「孟子註釋抄」とあり、中眼鏡で見るやうな細かい字がギツシリなんでゐます、先生といふのはせいぜい八、九歳の小孩でこれで意味がわかるかと先生に訊ねると「いや全然わからない、自分にもよくわからない」と洒々と答へたのにはちよつと呆れました。私はこの時學校で勉强してゐられるみなさんのことを大きな感慨をもつて思ひ浮かべずにをれませんでした、ところがこの書林の御忙しいなかを、僕たちのためにお書き下さつた御筆蹟には二年前までボールドで見なれた懐かしさとともに僕たちのみなさんの幸福を思はずにをれません、これを新年の挨拶かへられた先生のお言葉通りに僕たちかはりなくはげんでをりますから御安心下さい

この間二日間連合演習がありました、一夜徹夜で十余里の途を行軍しました、體月夜に默々として進む武裝の僕達の一部隊はいつか讀んだ「士と兵隊」の中の强行軍そのものの如くに感じられました、次第に夜が更け肩の重みが身にこたへる樣になるとだんだん足も亂れ勝ちになり、東の空が白みかけるころはもう誰も彼も吊り上つたやうな眼をしてゐる物の怪につかれたやうにとも思はれる位危く自己を忘れさうになりながらただ精神の力だけで足を運んでゐたのでありました、その時の苦しさ、はじめてはつきりと皇軍勇士の

●……御苦勞……●

感謝の念を捧げずにはゐられませんでした、そして「先生もかうして夜を日についで行軍していらつしやるだらう」と思へば期せずして互ひに先生のことを語り合ふのでした

今年からは毎年の行事であつた運動會を廢止して、强歩大會を催すこと、學校を出發して今池、高針、植田野並笠寺を廻つて學校へ戻るまでのコースを全校生徒一人もなく踏破しました

ありました、その時の苦しさ、はじめてはつきりと皇軍勇士の

●……御苦勞……●

を知り今さらながら尊敬と感謝の念を捧げずにはゐられませんでした、そして「先生もかうして夜を日についで行軍していらつしやるだらう」と思へば期せずして互ひに先生のことを語り合ふのでした

今年からは毎年の行事であつた運動會を廢止して、强歩大會を催すこと、學校を出發して今池、高針、植田野並笠寺を廻つて學校へ戻るまでのコースを全校生徒一人もなく踏破しました

の錄々たるものがあります、小さな體でもつとも學校といつても他に學校もあるのですが、一番大きな洋館まかひの小學校もあるのです、武裝のまま入ることはどうかと思ひましたが、そつと戸を開けて見ると子供たちはチラとこちらを振向いたまま平氣で讀書をつづけてゐます、度々の掃討でもうつかり「日本先生」にはは慣れてゐるのでなかにはコリと私に笑ひかけたものもありました

●……黑板に……●

生徒は四、五十人で背にした先生は日本とあまし持つた土民の一人が捕へられたのですが、私の見た書林の教師だつたのです、調査の結果彼は

●……便衣隊……●

と判りました、小さな體で、「孟子註釋抄」とあり、中眼鏡で見るやうな細かい字がギツシリなんでゐます、先生といふのはせいぜい八、九歳の小孩でこれで意味がわかるかと先生に訊ねると「いや全然わからない、自分にもよくわからない」と洒々と答へたのにはちよつと呆れました。私はこの時學校で勉强してゐられるみなさんのことを大きな感慨をもつて思ひ浮かべずにをれませんでした、ところがこの書林の御忙しいなかを、僕たちのためにお書き下さつた御筆蹟には二年前までボールドで見なれた懐かしさとともに僕たちのみなさんの幸福を思はずにをれません、これを新年の挨拶かへられた先生のお言葉通りに僕たちかはりなくはげんでをりますから御安心下さい

この間二日間連合演習がありました、一夜徹夜で十余里の途を行軍しました、體月夜に默々として進む武裝の僕達の一部隊はいつか讀んだ「士と兵隊」の中の强行軍そのものの如くに感じられました、次第に夜が更け肩の重みが身にこたへる樣になるとだんだん足も亂れ勝ちになり、東の空が白みかけるころはもう誰も彼も吊り上つたやうな眼をしてゐる物の怪につかれたやうにとも思はれる位危く自己を忘れさうになりながらただ精神の力だけで足を運んでゐたのでありました、その時の苦しさ、はじめてはつきりと皇軍勇士の

●……御苦勞……●

感謝の念を捧げずにはゐられませんでした、そして「先生もかうして夜を日についで行軍していらつしやるだらう」と思へば期せずして互ひに先生のことを語り合ふのでした

今年からは毎年の行事であつた運動會を廢止して、强歩大會を催すこと、學校を出發して今池、高針、植田野並笠寺を廻つて學校へ戻るまでのコースを全校生徒一人もなく踏破しました

●……便衣隊……●

と判りました、小さな體で、「孟子註釋抄」とあり、中眼鏡で見るやうな細かい字がギツシリなんでゐます、先生といふのはせいぜい八、九歳の小孩でこれで意味がわかるかと先生に訊ねると「いや全然わからない、自分にもよくわからない」と洒々と答へたのにはちよつと呆れました。私はこの時學校で勉强してゐられるみなさんのことを大きな感慨をもつて思ひ浮かべずにをれませんでした、ところがこの書林の御忙しいなかを、僕たちのためにお書き下さつた御筆蹟には二年前までボールドで見なれた懐かしさとともに僕たちのみなさんの幸福を思はずにをれません、これを新年の挨拶かへられた先生のお言葉通りに僕たちかはりなくはげんでをりますから御安心下さい

●……先生が……●

御出征遊ばしてから學校も

●……大陸を……●

見守つていらつしやる尊い御姿を思ひ語り合つてははげまされてゐるのです、上級生にはいよ〳〵難關の入學試驗もせまりましたが、これも先生の意氣にならつて突破しませう、どうぞ御身體を御大切に、はるかに僕達の頑張りを御覽下さい

●……御覽になつてをられた先生の……●

御姿のないのはちよつとさびしい氣がしました、みんな先生に見ていただいてゐるつもりで、一生懸命にやりました僕たちは何かにつけ先生の御姿を思ひ語り合つてはげまされてゐるのです、上級生にはいよ〳〵難關の入學試驗もせまりましたが、これも先生の意氣にならつて突破しませう、どうぞ御身體を御大切に、はるかに僕達の頑張りを御覽下さい

●……大陸を……●

見守つていらつしやる尊い御姿を思ひ語り合つてははげまされてゐるのです、上級生にはいよ〳〵難關の入學試驗もせまりましたが、これも先生の意氣にならつて突破しませう、どうぞ御身體を御大切に、はるかに僕達の頑張りを御覽下さい

●……先生が……●

御出征遊ばしてから學校も

●……御覽になつてをられた先生の……●

御姿のないのはちよつとさびしい氣がしました、みんな先生に見ていただいてゐるつもりで、一生懸命にやりました僕たちは何かにつけ先生の御姿を思ひ語り合つてはげまされてゐるのです、上級生にはいよ〳〵難關の入學試驗もせまりましたが、これも先生の意氣にならつて突破しませう、どうぞ御身體を御大切に、はるかに僕達の頑張りを御覽下さい

正しい勉强の出來る幸福

熱田中學校五年生 河合邦

先生のなつかしいお便り、僕たちは言ひに正しい勉强の出來る幸福を知ぬ感激をもつてしみじみと感じます、これもみんな先生はじめ皇軍勇士のおかげだと思ふと僕たちは一分も一秒も大切な時を逸してはならぬと堅く心に誓はづにはをれません

●……御覽になつてをられた先生の……●

御姿のないのはちよつとさびしい氣がしました、みんな先生に見ていただいてゐるつもりで、一生懸命にやりました僕たちは何かにつけ先生の御姿を思ひ語り合つてはげまされてゐるのです、上級生にはいよ〳〵難關の入學試驗もせまりましたが、これも先生の意氣にならつて突破しませう、どうぞ御身體を御大切に、はるかに僕達の頑張りを御覽下さい

●……大陸を……●

見守つていらつしやる尊い御姿を思ひ語り合つてはげまされてゐるのです、上級生にはいよ〳〵難關の入學試驗もせまりましたが、これも先生の意氣にならつて突破しませう、どうぞ御身體を御大切に、はるかに僕達の頑張りを御覽下さい

ASSINATURAS
Ano - - - - - - - - - - - - 40$000
Semestre - - - - - - - - - 20$000
Numero do dia - - - - - - - $500
Exterior, ano - - - - - - - 100$000

NOTICIAS DE S. PAULO

DIRETORA PROPRIETARIA
CELINA KOWYAMA

ANO XX | Redação - Administração: RUA CONDE DE SÃO JOAQUIM, 93 | S. PAULO -- Terça-Feira, 25 de Março de 1941 | TELEFONE, 7-0447 CAIXA POSTAL, 2765 | N. 2.202

SR. M. KOBAYASHI
小林美登利殿
R. GARBÃO BUENO 407

Iniciada a execução do plano de colonização agricola da nação

Declarações do ministro Fernando Costa - Partida do diretor da Colonia Agricola de Goiáz - Uma rodovia de 200 quilometros - Instalação de colonias agricolas no Amazonas, Pará e Mato Grosso

RIO, 23 (Do n/ correspondente) — Falando à imprensa, o ministro da Agricultura teve oportunidade de se referir à instalação de grandes colônias agricolas no interior do país, de acordo com o desejo do chefe do governo, e que visam o desenvolvimento da produção nacional e dos pequenos agricultores.

Disse o sr. Fernando Costa que, por ocasião do seu último despacho com o sr. Getulio Vargas, apresentou o agrônomo, sr. Bernardo Saião de Carvalho Araujo, que vai dirigir a colônia agricola de Goiaz, e que seguirá imediatamente para esse Estado, afim de dar inicio, com os engenheiros do Serviço de Colonização, aos estudos para a abertura de uma estrada de rodagem, que ligará a aludida colônia agricola à cidade de Anápolis, numa extensão de cerca de 200 quilometros.

Acentuou o ministro da Agricultura que o chefe da Nação dispensa grande interesse à questão de colonização agricola, desejando que os serviços nesse sentido sejam atacados com brevidade.

Para a colônia agricola de Goiaz será adquirido todo o aparelhamento necessário a instalação de uma olaria destinada a fornecer o material para a construção de 5 mil casas, em que serão localizadas outras tantas planices de agricultores.

Finalizando, disse o sr. Fernando Costa que já estão sendo tomadas providências para a instalação de colônias agricolas no Amazonas, Pará e Mato Grosso, nos moldes das de Goiaz.

O proletariado brasileiro homenagea o presidente da Nação

Manifesto entregue ao ministro do Trabalho

RIO, 21 (Do n/ correspondente) — A comissão executiva do monumento dos trabalhadores nacionais ao presidente Vargas, constituida dos presidentes de todas as federações nacionais de trabalhadores e de vários sindicatos désta capital, esteve em companhia do sr. Rego Monteiro, diretor do Dep. Nacional do Trabalho, no gabinete do ministro Waldemar Falcão, afim de fazer entrega do original do manifesto que dirigiu às classes trabalhistas de todo o país, sobre a construção do imponente monumento que, como foi noticiado, será um obelisco de 125 metros erguido no eixo da futura avenida "Presidente Getulio Vargas", como homenagem e apreço ao chefe da nação.

Em nome da comissão falou o snr. Nelson Procopio de Souza, presidente da Fed. Nacional dos Maritimos.

Respondendo, o ministro do Trabalho declarou que essa iniciativa não significava apenas, prova de imperecivel gratidão mas, lição perene aos povos civilizados da implantação da paz social e do reconhecimento dos legitimos direitos dos trabalhadores do Brasil pelo benemérito presidente, em nome dos altos interesses da patria.

"A fraternidade e a paz social, representam a maior couraça que o Brasil possue e que se alicerça na legislação social decretada pelo presidente Getulio Vargas" - concluiu o ministro Waldemar Falcão.

O «Pé de Papagaio» curiosa planta do nordeste brasileiro

Planta que a sêca não mata e que morta ainda ressurge

No nordeste do Brasil, onde o gado morre de sêde e fome, quando o estio se prolonga, medra o «Pé de Papagaio», tambem chamado «Pé de Lobo» ou «Ressurgideira», que os botanicos classificaram como "Selaginela convoluta», o qual, apesar de possuir folhas extremamente delicadas, dispostas em ramos pluripartidos, que emergem de um cêpo central, consegue aguentar mais do que o gado e o homem empregando os recursos com que a natureza o dotou.

Esta delicada e bela planta, expande os seus ramos até rente o chão, quando as chuvas abundam. Chegando a sêca, encurva-os e fecha-se em interessante bola que, vista de fóra, mostra as rijas raques dos ramos amarelados e asperos, os quais pelo seu aspeto sugeriram os dois primeiros nomes citados. Então o vento consegue desarraiga-la facilmente e a conduz consigo como lhe apetece, tal como na Arabia e Palestina, faz com a «Rosa de Jericó». A nossa planta do nordeste aproveita a viagem para disseminar os esporos das pequenas capsulas auxilares, pois ela é uma critograma. Mas se o «Anastatica» uma vez morta não mais revive, o nosso «Pé de Papagaio» leva-lhe grandes vantagens, pois que, aparentemente seco e morto, ele retorna a primitiva beleza quando apenas por uma ou duas horas, recebe uma descarga de chuva.

Fizemos em 1920, uma experiência com uma dessas plantas, que recebemos de um correspondente. Guardamo-la na gaveta da secretaria e no termino de um ano deitamo-la num pires com agua. Após uma hora rejuvenesceu. Plantada durou muito tempo.

(CONTINUA)

O Brasil será um dos maiores países indústriais do mundo

Declara Lord Forres, presidente da Associação dos Exportadores

LONDRES, 24 (U. P.) — Não há motivos para se esperar que a missão de Lord Willingdon consiga dar um grande impulso ao intercâmbio comercial entre a Inglaterra e a América Latina.

É o que admitiu, fundamentalmente, ao ser interrogado pelos jornalistas, lord Forres, presidente da Associção dos Exportadores e membro da referida missão a qual efetuou, há pouco tempo, uma viagem aos países latino-americanos.

Falando sobre o desenvolvimento industrial do Brasil, lord Forres declarou: Formei uma opinião que coincide com a dos que conhecem melhor esse país. De acordo com essa opinião, o Brasil, dentro de 25 anos, ou talvez menos, será um dos maiores países industriais do mundo".

Lord Forres explicou que visitou os Estados do Rio de Janeiro e S. Paulo onde poude comprovar o rápido desenvolvimento da produção de ferro, aço, cóque, cromo, niquel, borracha, algodão, bauxita, azeites vegetais e pasta de madeira. Disse ainda que, se o desenvolvimento da indústria brasileira prosseguir no mesmo ritmo o país produzirá mais do que o seu mercado interno pode consumir. Apresentar-se-á então a imperiosa necessidade de exportar e, mais ainda, terá à sua mão mercados para vender os seus produtos, nas demais repúblicas americanas.

"O Brasil — prosseguiu — com uma superficie maior que os EE. UU. com habitantes dinâmicos, já produz artigos de algodão, seda, «raion», ceramica, calçado, farinha, pneumatico e cimento, todos de boa qualidade, com matérias primas próprias. Fá-lo de tal forma que chegará a ser, provavelmente, um poderoso competidor da Grã Bretanha, EE. UU. e de outros países indústriais, não só no mercado sul-americanos como no resto do mundo."

300 toneladas de sementes de trigo

O sr. Franklin Viégas, chefe do Serviço de Fomento Agrícola Federal, endereçou ao chefe do Departamento desse Serviço, no Rio de Janeiro, um pedido de sementes de trigo para distribuição aos lavradores paulistas, em vista de se ter esgotado a primeira remessa. Os pedidos até agora recebidos por aquela repartição nesta capital, montam a cerca de 300 toneladas".

Estão autorizadas a fazer os financiamentos

excecionais de café todas as agências do Banco do Brasil no Estado de S. Paulo

O sr. Alberto Whately, presidente da Sociedade Rural Brasileira, recebeu a seguinte comunicação da Agência do Banco do Brasil em S. Paulo.

"Em resposta à consulta que nos dirigiu em nome dessa Sociedade, temos o prazer de informar a v. s. que todas as agências do Banco do Brasil no Estado de S. Paulo, já estão autorizadas a fazer os financiamentos excecionais, previstos pelo decreto-lei n.o 3.049 de 13 de fevereiro de 1941, abrangendo o periodo que vai de . . 1/11/940 a 31/10/943.

Os contratos serão feitos anualmente.

No orçamento do custeio, que deverá ser minucioso e preciso, será admitida uma verba destinada à subsistência do fazendeiro e de sua familia, considerados como residentes na fazenda.

A utilização do crédito concedido só poderá ser feita na conformidade do orçamento, e com rigorosa observância das condições contratuais, não se admitindo nenhum desvio e nenhuma infração das clausulas do contráto".

Eletrificação da Sorocabana

Assinatura do contrato de financiamento

RIO, 23 (Do ns correspondente) — Entre o Estado de São Paulo e o Banco do Brasil foi assinado um contrato de emprestimo de 183 mil contos destinado às obras de eletrificação da E. F. Sorocabana. O ato da assinatura do importante contrato revestiu se de solenidades, tendo sido o Banco do Brasil representado pelo seu presidente Marques dos Reis, com a assistência de todos os diretores, superintendente e do gerente da Agência Central. Pelo Estado de São Paulo assinaram a escritura os srs. Adhemar de Barros, interventor federal; Mario Rolim Telles, secretario da Fazenda e Guilherme Winter, secretario da Viação, que vieram ao Rio especialmente para esse fim. Assistiu tambem ao ato o sr. Orlando Nurgel, diretor da Sorocabana. Falando à imprensa após a assinatura do contrato, o interventor paulista declarou que hoje mesmo expedirá instruções para inicio das grandes obras de eletrificação da Sorocabana.

TELEGRAMA AO PRESIDENTE GETULIO VARGAS

Em seguida ao ato o interventor Adhemar de Barros telegrafou ao presidente Getulio Vargas agradecendo em nome do seu governo e do povo de S. Paulo mais aquele beneficio prestado por s. excia. à comunidade bandeirante.

O combate diréto à broca do algodoeiro

RIO, 23 (Do n/ correspondente) — O ministro Fernando Costa recebeu comunicação de que técnicos da Agência do Serviço de Economia Rural em S. Paulo, ao visitar a Fazenda Experimental de Mato Dentro, do Instituto Biológico do Estado, constataram os bons resultados obtidos pelos agrônomos desse Instituto nas experiências de novos metodos de combate diréto à broca do algodoeiro. O processo consiste na pulverização do algodoeiro, quando ainda se apresenta com uns 10 centimetros, mais ou menos. Parece ter sido provado que o o inséto causador do mal penétra no caule da planta, em tenra idade, indo até a raiz, matando-a. Por essa razão, a pulverização, em época oportuna, extermina o inséto antes que este penetre no caule.

Trata-se, sem duvida, de mais uma contribuição da agrônomia brasileira para o desenvolvimento da produção nacional.

Conselheiro da Embaixada

Rio, 22 (Do n/correspondente) — O ministro Oswaldo Aranha recebeu em audiencia o sr. Itaro Ishii, embaixador do Japão que lhe apresentou o novo conselheiro da embaixada japoneza, sr. Takashi Mori.

Chega o Embaixador Leão Velloso

Declarações de s. exa. à imprensa

RIO, 22 (Do n/ correspondente) — Procedente da Europa, entrou na Guanabara esta tarde o navio «Bagé» do Lloyd Brasileiro, que trouxe diversos representantes da nossa diplomacia. Entre esses, figura o sr. Pedro Leão Velloso, nosso embaixador junto ao Vaticano que retorna ao Brasil em goso de férias de quatro meses, após cito anos de ausencia, durante os quais representou o nosso país na China e na capital do Japão, onde deixou uma verdadeira legião de admiradores de sua fulgurante inteligência e coração magnanimo.

Falando à imprensa, s. exa. disse que em Roma não se tem conhecimento exato da situação mundial e que por intermedio dos jornais brasileiros é que tinha conhecimento dos fátos ocorridos.

D. ZEPHIRINO DO AMARAL
Dr. CLAUDIO DO AMARAL
MEDICO - OPERADOR
Rua 7 de Abril 235, Tel. 4-7217 S. Paulo

聖市サンタクルーザ病院長並サンタクルーザ病院内科部長
專門 一般外科手術 泌尿器科病
ドトール、ゼフリノ、ドル、アマラル
ドトル、クラウディノ、ドル、アマラル
診察時間 午後一時—五時迄
セッテ、デ、アブリル街二三五、四階
電話二—五七

新裝成りて 情趣豐酵
富の美家
是非一夕の御清遊を待ちして居ります
聖市ラーゲンチバタ 電話二七一六一・二七八七

兒島寫眞館
ラルゴ、ド、テゾロ二十一番(三階)
電話二—七五八七

Kojima

むいさぼん 寫眞館
館主 江口桂秀

金魚 分讓 一打六十錢
主任 松田保
江口養魚場
リンス市公園通り一八六
郵函

天下一品!! 味の良い!
富士山印
醬油
ノロ線 カフエランジャ驛
藤澤豐次郎

社告
△ノロ線 山本準三郎
△バ本線 西田秀記
△北パラナ 佐藤啓三
△ソロ線 榛葉三九三郎
△ポンペイア 瀬澤英糸
右の通り貴地に出張致し居り候間、何分の御配慮を賜り度御願申上候。
聖州新報社

Cia. de Terras Norte do Paraná
Rua São Bento, No. 329 - 8o. and - Tel. 3-4561
Caixa Postal, No. 2771 - S. PAULO

Inscripção no. 12 no Registro Geral do Immoveis da Comarca de Londrina na forma do Decreto-lei no. 3079 de 15 de Setembro de 1938

既報の如くサンパウロ、パラナ鐵道の延長工事はローランヂヤ驛より昨年六月下旬を以つて着手せしが豫告の通り寸分の相違なく愈々昨年十二月アラポンガ驛まで完成本年一月一日より開通の運びとなりました。
斯樣な狀態なので當地の人氣はます〳〵加はり從つて土地視察購入者の殺到を來らしました。
就ては今回新たに吾が日本人部として一區域二千アルケーレスをば分讓することになりました。然るに此の地點は國際植民地即ち五十五萬アルケーレスの心臟地帶に位し且つ又パラグワヤ、ウルグワヤ、アルゼンチン及びマトグロツソ、プレシデンテ・プルデンテ等へ通ずる四圍の分岐點に當り、
ロンドリーナの大都市に次ぐ第二の市街發展地として
既に世人の注目の的となり、將來吾等の第二の鄉土たるべき眞に永遠の安住的理想に必適するが故に永住の目的は勿論歸國を志す者、又は他で土地を求めんと欲する者は、
百聞は一見に如かず
の意味に於て此際一日も速かに實地の視察を試みよ
▼地價は六百五十ミルより八百ミル迄 五年賦割拂 但し殘額に對し年八步の利子を附加す、此他五百アルケーレス以上買入の場合は特別割引の便あり
北パラナ土地會社
日本人總代理人 氏原彦馬
ロンドリーナ市中央事務所 (郵函一五)
Londrina, E. F. S. P. P. - Estado de Paraná

南米銀行

Escritorio Mizumoto
Rua 11 de Agosto, 288
S. PAULO
伯國生れ十八歳未滿の海外旅行(歸國)は總て聯邦植民地審議會の許可が必要となりましたが(二月十日法令、第三〇三四號)當事務所では既に多數の許可證を取得致しました。
手續き前に是非一度確實なる當事務所に御問合せ下さい。
三月十七日
水本法律事務所
聖市オンゼ・デ・アゴスト街二八八番、一階二號、三號、四號、五號室
リオ市アベニーダ・アルミランテ・バローゾ九〇番六階、六〇九、六一一號室
▼六、七月頃御歸國の方々は至急ナツシメントを當事務所迄御送り下さい。